

保育かながわ

発行所

横浜市神奈川区沢渡
4の2

神奈川県保育会

発行人

富田 英雄

題字

故 内山岩太郎 筆

所 感

神奈川県児童福祉課長 清水 勝 夫



「保育所は、保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉のための施設である。」にはじまる「保育所保育指針」が、昭和四十年八月に通知されたことは周知のことと存じます。

あれから二十数年を経た平成二年三月に第二の「保育所保育指針」が通知されました。

両者の骨格をみると、今回の保育指針の改正の主な点は、次の三点に集約されると思います。

そのひとつは、保育所保育の特性である養護と教育の一体性を基

調とし、全年齢を通じて健康、人間関係など基礎的事項が記載されていること、二つ目は、乳児保育の普及に伴い、六か月未満児の保育内容を加筆するとともに、障害児保育についても留意するようかき加えています。

三番目は、保育内容について、従来の生活、遊びなど六領域から健康など五領域に改められています。

しかしながら、二十数年を経た今日、保育内容の基礎・基本がそのまま引き継がれ改正されていない。

私は、このように「指針」が長年月を経ても、文脈がそのまま生き生きとしていること、これは何とすばらしいことかと感じている次第です。

ところで、県全体の保育所数の推移ですが、昭和四十二年269か所、昭和四十五年344か所、昭和五十年497か所、昭和五十八年682か所でピークとなり、現在平成三年678か所となっております。このように、数多くの保育所が、この「指針」に基づいて、保育を実施していることはすばらしいことだと感じています。

私は、四月以降、保育関係の方々といろいろな場でご意見等を伺ってまいりました。

私は、これからの保育対策の重点は二つあると認識しております。

そのひとつは、保育所の質的充実を図るうえで、保育所のリストラクチャー対策に力を注いでいきたいと考えております。

第二は、保母確保対策の充実を図ることです。「施設は人なり」です。何とかこれも目の目をみるよう努力したいと考えております。皆さんのお力添えをお願いいたします。



就任のあいさつ

神奈川県保育会会長 富田 英雄

このたび、鈴木萬吏名誉会長のあとを受けて、第四代神奈川県保育会長に就任いたしました。もとよりその任ではありませんが、会長はじめ委員の皆様方の暖かい御推薦をありがたく受けとめ、粉骨砕身努力すれば、道は自ずと開けると信じてお引受けいたしました。

勿論有能な副会長四氏が、全面的にバックアップしてくれるだろうとの期待感と安心感があつてのこととは言うまでもありません。

鈴木萬吏前会長には「どうして全国保育協議会の会長になつて欲しい」との私達の夢を実現するために、相談役のポストを新設して就任していただき、全国レベルでバリバリ働いていただくことにしました。幸い体調も、薄紙を剥

ぐように快方に向つておりますので、ごく近い将来、神奈川県から全国保育協議会の会長が生まれるものと信じております。どうぞ皆様私達同様御支援下さいますようお願い申し上げます。

今や福祉というと老人福祉を指すのではないかと思える程、政治もマスコミもおしなべて老人の方を向いています。そりゃあ老人福祉は大切です。私も老人の仲間に入ろうとしていますからありがたいことです。しかし、日本の将来を背負つて立つのは子ども達なのです。人々の姿勢をはやく子ども達に向けさせないと、足腰の強い子どもは育ちません。少子化の進む今、より足腰の強い子ども達を育てなければ日本の国は亡びてし

まいます。だからこそ日々保育に携わる私達の責任は重大です。

にこれらを充実させたいと思っています。

神奈川県保育会は、県下の保育関係者約七千名の会ですが、その目的は唯一「どうしたら、子ども達をより幸せにさせられるだろうか」ということです。バラ色の未来を見つめて、キラキラと輝く子ども達の瞳を見てみると、子ども達の幸せのために頑張らずにはいられません。幸い前会長が保育会活性化の為に作った調査研究・研修・総務・広報・予対の五つの部が、この目的を達成する為に、保育環境の整備や勤務時間短縮、延長保育などのさししまった問題を含めて、研究・研修や人材確保等に対する行政との協議など、幅広い事業を展開していますが、更

最近心を病む園長や保母が増えてきたと聞き、心が痛みます。人生の一番大切な時期の子ども達に接する保育者は、身も心も健全でなければなりません。「心が痛い」などと呑気なことを言つてはいられません。保育会会員全員で至急に解決しなければならぬ重大な問題です。エライ先生の名講義も勿論大切ですが、私はさしあたって心をリフレッシュする研修の企画を研修部に依頼し、それを早期解決の糸口にしたいと思います。私をはじめ、部長を兼務する有能な副会長の潜在能力が十二分に引き出せますよう皆様の叱咤激励を切にお願い申しあげます。

第26回 神奈川県保育事業大会 於 神奈川県社会福祉会館

第二十六回保育事業大会が、去る五月十六日に保育会・保母会共催、神奈川県・社会福祉協議会・民間

保育園協会のご後援により行われました。

第一部「花のおさなご」の斉唱のあと会長の挨拶、永年勤続者の表彰、来賓の方々からのご祝辞をいただきました。又、永年保育会会長としてご尽力いただきました鈴木萬吏先生に記念品と花束、参

加者一同の大きな拍手で感謝の意を表しました。

続いて保育会、保母会が会場を

別にして総会を開催、平成三年度の事業報告と決算、平成四年度の事業計画案、予算案を審議しそれぞれ承認されました。保育会では、高齢化社会が益々拍車を掛けて進む中、保育所を取り巻く社会環境、少子化現象に伴う定員割れや多様な保育ニーズに対応する制度等々に各地区の代表たる公私立の委員を中心に結束し、更に専門委員を加えて児童の処遇、保育所全般に於いての市町村格差のないように又、保育所づくりの体制整備や高い保育サービスに取り組む姿勢が必要である。保母会では、保育者の高度な資質が求められると共に、保育内容の充実が要求されている。



子供達の真の幸せを認識し、より良い保育者となるよう取り組んでいかなければならずそれぞれが新保育指針が目指す児童福祉の達成に向かって新たな決意を感じつつ総会は終了。午後からは第二部の研究討議に入りました。

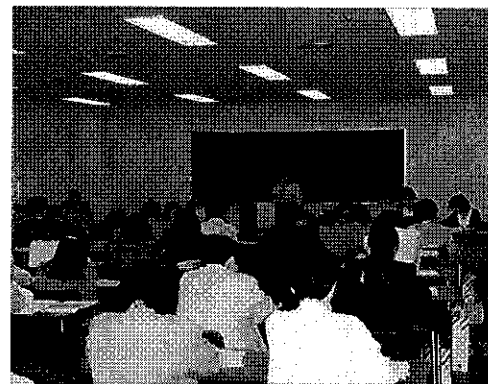
へ大きくふくらませる

子どもたちの夢へ

―すてきな保育所・そして私たち―
ちーをメインテーマに子どもたちが健やかに生まれ育つことは、すべての人々の願いであり子どもたちの未来への大きな夢と可能性を育む場である保育所への期待は極めて大きく、いま保育所を取り巻く状況がいかに厳しかろうと、こ

の期待に応えられるよう学び合うために三会場にわかれ研究討議が進められた。

第一会場「児童福祉推進を図る公立保育所の機能強化」第二会場「共感と思いやりを育てる保育」第三会場「子どもと生活」についての研究発表があり、それぞれがきめ細かい内容で大変勉強になり活発な質疑応答も行われました。又助言者の先生方からも良い助言をいただき今後の保育運営、保育内容にも参考になることと思いました。



平成4年度保育会

専門部紹介

総務部

新生組織で五年目、鈴木体制での「基盤確立」から富田体制の「事業充実」に、会は発展しつつあります。

総務部も、富田部長から私が引き継ぎ、会活動の要として更に貢献する所存です。自信をもってこう断言できるのには訳があります。それは、総務部員の充実した顔ぶれです。

部長 草山 充
（私）小川 晃先生、小田原市・報徳保育園（私）
栄 研三先生、大和市・深見台保育園（公） 二見 宣長先生という実力者の面々です。
会員の皆様に役立つよう頑張ります。ご支援下さい。

調査研究部を中心に「保育実習生を受け入れるための手引書づくり」の作業が進み、現在まとめの段階に入りました。この手引書を作成する目的の終局は、人材確保につながることで

部長 渡辺 健司

我が身のチェックを

調査研究部

保育実習生を、園長や保育者がチェックするだけでなく、実習生側からも我々がチェックされていることを受けとめ、これからの保育実習時期に対応していただきたいことを切に望みます。

公立専門委員会

理想的な園長像を求めて

公立委員会組織化への機運が高まり最初の人数九人を越えて今年には四人加えられ十三名の新ベテラン委員の先生方に恵まれて新しくスタート致しました。
出生率の低下、核家族化の進行、女性の社会進出の増大等により子どもを取り巻く環境は大きく変化しているその中で、子どもが健やかに生まれ育つ事のできる環境の問題に公立保育所はどう対応できるのか。何ができるのかその在り方が問われています。職員一人一人の意識の変革が求められ、さまざまな課題に対応する園長の在り方を、お互いに情報交換する中で、理想的な園長像を語り求めていきたいと願っています。

委員長 稲川 絹子

予算対策部

皆さんのご理解を

部長 都築 融光

予算対策部は、すでに平成四年度の活動の準備に入らなければなりません。この広報紙が発行される頃には保育予算獲得のための活動資金カンパが実施されて居ると思います。
平成三年度不調に終わった予対活動の分まで獲得するため、がんばるつもりです。今年度全保協は、請願署名は行わず、国会陳情の直接行動を強化する方針であります。その為にも協力金のカンパには、各県市町村に於て強力に、その実をあげなければなりません。どうか園長先生を始めとして保母の皆さん、保護者の皆さんの特段のご理解をお願い申し上げます。

情報を速やかに

部長 稲川 絹子

広報部

広報部も新顔メンバーで意欲に燃えてスタート致しました。微力ながらも広報の任務が少しでも達成できればと念じております。
会員の皆様に常に新しい正確な情報を収集し、総務部と連携しながら、直接又は委員を通じて速やかにお届けし、長時間、外国児等の保育問題、完全週休二日制や環境問題、保育を取りまく諸問題について、これからの保育所のあり方について、各地区保育会、各園で検討していただければ幸いと存じます。「保育かながわ」の発行は、年二回ですが、委員会や各部の活動報告その他の情報を知らせ、皆様の御指導を仰ぎながら編集させていただきます。

特集

追想 十三年

前保育会会長 鈴木 萬 吏

関東ブロック保育研究大会も会員の諸先生方のご支援ご協力で無事に開催された。その年度かぎり任期半ばで会長を退任すると阿部龍蔵先生が言明されたのは、副会長・庶務・会計から構成する当時の執行部で阿部先生をおねざらいするたため鎌倉園での宴席の場でした。これが昭和五十三年秋のことでした。その年末には、神奈川県民間保育園連盟設立の計画があり皆でこれに協力し神奈川県保育会の民間部会の役割も果たしてもらったらいとの私や富田現会長の意見に、組織を弱めるようなことには絶対反対であるとの、阿部先生らしい明確なご指示でした。しかし、民間保育園連盟はスタートし各地の保育のリーダーを副会長にすえ会長には望月正道先生が就任されたこの会の勢いは素晴らしいものでした。私が神奈川県保育会会長に就任したのはこうした時期で前年の保育研究大会の連帯や協力の雰囲気は殆ど感じられませんでした。

さらに民間保育園連盟の事務局長は県保育会に競争を挑むような態度で事業を進め、内には県西保育の先進地小田原の一時退会—望月、阿部両顧問の園は除く。さらにまだ任期中の朝比奈副会長を擁する相模原地区の小川先生・松岡先生を除く一斉退会のパンチでした。

川崎地区も鈴木栄一先生や、小林慈征先生が副会長として協力頂きましたが政令市と市町村・県の二段階構造の県所管との違いがあるので、これは協議のうえ別れることにしました。公私共に、大変協力して下さい。また地区だけに今でも残念に思います。

そのうちに民間保育園連盟を解散して別の組織をつくろうということが奥村栄先生が中心になっており奥村先生・望月先生・松川先生それに私が発起人となり結成したのが民間保育園協会です。神奈川県社会福祉協議会の保育分科会の委員長も県保育会長のあてしよくでしたが活性化するためには松川先生・富田副会長と移った次第です。富田会長が委員長を兼任されるならば旧に復した事になります。専門部制も定着し会員の先生方の神奈川県保育会としてのご発展をお祈り致します。

私のために湯本富士屋ホテルで開いて下さった会には、多数御出席下さり感謝に耐えません。又永い間本当にありがとうございました。

鈴木萬吏先生 感謝のつどい



鈴木萬吏先生は、保育会長として神奈川の保育事業向上のために献身的に御尽力下さいました。そして、私共保育者が活動しやすいように光を与え、保育界に大きく道を開いて下さいました。13年間の計り知れぬ労に心をこめて、感謝の集いを企画致しまして、参加者の方々から「ひとこと」いただきました。

平成4年6月22日 箱根湯本富士屋ホテルにて

小田原愛児園 望月正道

鈴木先生は、言語明瞭、頭脳明晰でおられる。私は不思議でならない。あんな病気をなさって奇跡的に直って奇跡的に本日以前と変わらず言語明瞭、頭脳明晰で皆さんと対面する事が出来るという事は大変ありがたい事だなあと思っております。

大きな夢があるようでございますから、ぜひとも鈴木先生には、全国の保育会の会長という夢の実現をかねがねお祈りするわけですが、それには、くれぐれも身体に気をつけて、無理をせずに、そうして着々と一歩一歩進めば必ず到達するであろうと、このように確信しております。どうぞ奥様共々ご健康でがんばっていただければ大変喜ばしく思います。心から感謝申し上げます。

上溝保育園 小川あきの

いつも先生と喋ったり、腹が立つたり、奥歯を噛みしめたりという事の連続でございました。けれども先生と色々な事をお話する事によって、どれ位気持ちが安まった

かわかりません。そして、私の悲願は「神奈川から、全国の会長を出せ」という合言葉で他の役員の方々とそればかり考えて今日まで来ました。先生のご様子を見ますと、ご快復も間近いと思えますので来年の選挙の時には、神奈川には優秀な人材がいっぱいあるわけですから、全国会長を目指して今日からがんばっていただきたいと思っております。できるだけ心をこめて応援したいと思っております。

新磯野保育園 川崎喜代治

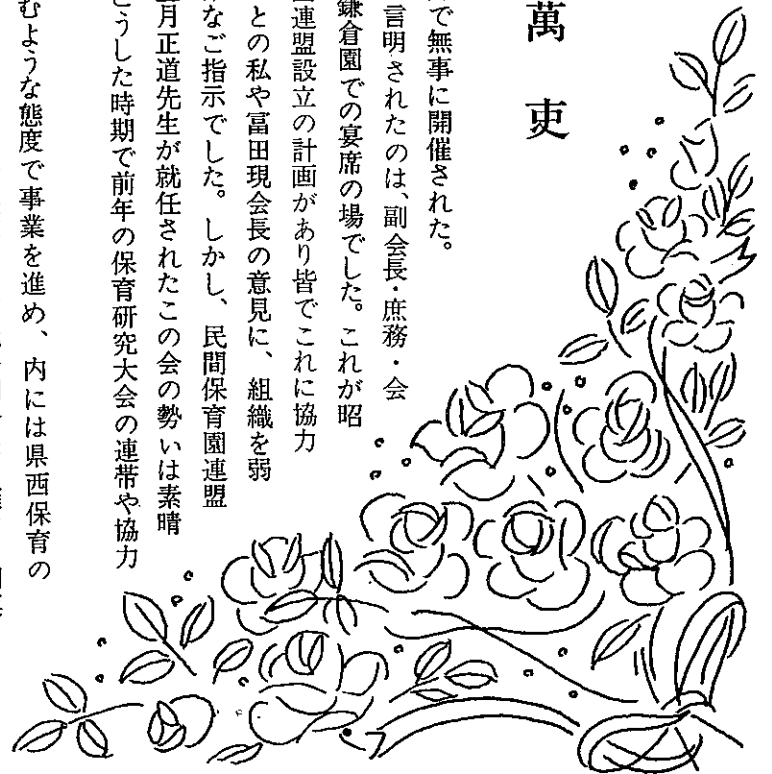
私は、役所に居りましてです。鈴木先生にいろいろな質問を多く受けた経験がございました。鈴木先生はそのまますばい云い乍らも相手に悪感情を与えないそのような話術の持ち主です。頭が非常にすばらしく切れまして人の云う事を先に云ってしまうという様な具合です。足がお悪いようですが、まだ来年がございませうのでがんばって下さい。神奈川の代表として活躍して下さい。

みどり保育園 山崎田鶴子

感謝の集い心からお喜び申し上げます。

上宮田小羊保育園 生野多恵子

県の保育会の委員に初めてなりました時に萬吏先生から色々な事を教えていただきました。自分の事ばかりを考えていたが、もっと広く視野を持ち、いろいろな事に目を向けるという事を教えていただきました。それ以来、色々と形は変りながらも、県の保育会のお手伝を微力ながらさせていたいております。いろいろなところが多く学ばせていただきました。本当にありがとうございます。どうぞ先生これからもますますお身体に留意されまして、がんばっていただきますと思います。





衣笠保育園 大芝知好

感謝の集いおめでとうございます。本当に長い間、お仕事にご専念されて私なども色々とお世話になりました。ありがとうございます。これからはお身体をより一層大切になさ

たちはな保育園 八亀佳江

好きに生きるという事は、どんなに楽しい事であり、そして又嬉しい事であるというようにこの年になって始めて解ったわけでございますけれども、本当に、本音で生きる方です。し、本音でしゃべる方だなどそんな風に先生を思っています。ありがとうございます。ますますお元気で過ごしていただきたいと存じます。

座間市相模が丘東保育園 松尾れい子

先生、色々とお逢いしました時には、いろいろな事をはっきり云われますのでとてもこわい人だと思っておりましたけれど、ひとつひとつ教えていただくうちに、何かこうきびしさの中にとってもあったかいものがある先生なんだなと思いました。最終的には、何かもう保育園が、ほんとに助けていただきながら五十八年度の保母会長をやらせていただきました。

本当にありがとうございます。



渕野辺保育園 松岡俊彦

本当に長い間ありがとうございます。萬更先生とは、今から二十年前のことを思い出します。箱根のホテルで園長の研修会の後だったと思いますが、飲みながら「今の神奈川県・全国の保育会は長老支配だから前に進まないんだよ、俺達は、これから開拓していくんだよ。血の通った生き生きとした保育にするために俺達が、どんどん積極的に前に進まなければいけないのだ。」と云うような会話をしてくる。その時の事を私は覚えているんですけれども、それから二十年、今こうして考えてみますと、その通り鈴木先生は、みんなのリーダーシップをお取りになり、我々に色々な意味で指導下さいまして本当にすごい先生だなあと感動致しました。時々先生の事を地元の方で昔を思い出しながら、あ、先生は頑張っている。本当に私なんか一体何をしています、そんな気持ちになります。全国大会に行きますと先生のご活躍というのがそのまま表われていまして、他の都道府県の方々から「萬更先生お身体はいかがでしょう」と心配する声がたくさんありました。自分の園の事は、奥様に任せて、日本全体の保育所の

中原保育園 原 千連

ために、力を惜しまず活躍していただいたんだなあと、本当に有難い事だ、我々は心から感謝申し上げなければいけないと今でも思っております。有難うございました。

妻田保育園 小泉直見

私も年を取っておりますので、本当に多くの方々とおつきあいをさせていただきまして、本当に萬更先生は、めずらしいお方、めずらしいことばを使うのは大変失礼ですが、長い間お付き合いいただきまして、これ程ずばりと本音をおっしゃる先生には、めったにお目にかかれないのではないかと。この先生となら本音で話ができるかと、こんな風にしみじみ感じたことがございます。本当に本音で生きて好きな事をやり、



第二回目を迎えた「県下市町村児童福祉主管課長と県保育会委員との保育懇談会」が七月三十日社会福祉会館において開催された。

参加者は、県より児童福祉課長以下四名、市町村担当課長二十一名、県保育会より三十三名であった。

富田会長より主催者挨拶と開催にいたる経過および趣旨説明、清水児童福祉課長の挨拶、県保育会委員の紹介、市町村主管課長の自己紹介が行われた。

懇談会に先立ち、今回のテーマは①延長保育の実態と問題点について。②当面する保育事業の課題について。③人材難時代にあつて……保育実習をめぐる問題（保育所及び養成校に対するアンケート調査結果から）ということであるため、草山副会長より「延長保育事業」に関するアンケート調査結果報告書の内容説明がなされた。引き続き相模原市より資料「相模原市における延長保育」を

市町村児童福祉課長との保育懇談会



使つての事例報告があり、実際に延長保育を実施している相模原市の清水委員からも具体的な事例の報告がなされ、このうち懇談に入った。

小田原市における民間保育園の現状報告、各市町村の課長、保育会委員より多くの報告や説明があった。実際に保育所に子どもを通園させた経験のある女性参加者から当時の体験が語られ、決められた降園時間までに子どもを迎えにくくため大変ご苦労された様子も報告された。

労働時間や生活時間が大きく変化し多様化する中で延長保育のニーズはますます増加していくことが予測されるが、保育所が延長保育のニーズに答えていくためには、現在の制度上の問題点、行政のシステムや財政的な課題を解決していかなければならないことは勿論だが、労働時間の短縮が叫ばれる現在にあって、ボランティアも含めた人材の確保ということが大き

なネックとなっていることが浮き彫りになった。

富田会長が、「延長保育を実施していくためには、多くの問題点を抱えているということが再認識された。公立保育所も民間保育所も含めて子ども達をどう幸せにするかということで、各市町村は共に手をたずさえ、課長も園長もいっしょになつて取り組んでいかなければならない。」と結んだ。

つぎに渡辺副会長より「保育実習の手引きづくり」の経過についての報告があった。

意識調査にあたつては、各方面に大変なご協力をいただきありがとうございました。現在取りまとめをしている段階でありますので、後程できあがったものを配布したいと考えておりますとのことであった。

最後に都築副会長より閉会の挨拶がのべられ第二回保育懇談会を終了した。



第33回 関東ブロック 保育研究大会

七月八日・九日・十日川崎市教育文化会館を主会場に開催されました。トランペットとピアノ演奏で開幕し約一三〇〇名の熱気あふれる参加者により、三日間の大会が進められました。開会式、総会に引き続き「新しい時代の保育を考える」を演題に、小田原女子短大、小館静江教授の基調講演が行われ、社会情勢の変化に伴い保育所は子育てのセンターとして注目されて来ている。これからは広い視野に立った地域のネットワーク作りが課題であるとお話があった。第一目の終りは、川崎市の保母総勢一〇〇名での川崎踊り「テイクオンミー」の曲にのつての軽やかなジャズダンス、最後に力強い「うすずみだいこ」「きやりだいこ」が響き第一日目の幕をとじました。二日目は五会場、12分科会に分散して行われ、神奈川県からは稲川先生の発表された第3分科会他、第8分科会、第11分科会で熱心な討議研究発表がなされました。三日目は、横浜市菊名愛児園の島田栄養士



による「給食の現状とことも、親、職員のかかわり」についてスライドを使った実践報告があり、引続いて、新時代の都市川崎にふさわしく「ハイテクノロジーと人間一人にやさしいコンピュータ」というテーマで川崎にある東芝パソコン・ワークステーションの小川暢久企画室長から、人間とコンピュータの新しい関係について、記念講演があり、人間の能力のすばらしさを痛感しました。その後、大会宣言、決議、閉会式と続き、次回開催地の長野市から「来年また長野であいましょう」とりんごの横断幕での呼びかけがあり、大会の幕をとじました。この大会中、会場、町のそここに川崎市の保母さんがデザインしたピンクのTシャツで、道案内・会場整理等、笑顔で活躍され応待していただいたのが、印象に残りました。

グループ討議の
ようす ▶



地域育児センター

児童福祉課

保育所へ通所していない母親
に対して育児の相談に乗ったり、
育児講演会に招いたり、あるい
は地域の人達と交流会を開き、
地域社会の身近な子育て情報提
供機関として、広く児童の育成
に活躍しています。

なかでも、パートで働く母親や保護者の事故や病氣、冠婚葬祭などで急に子供を預かって欲しい時の一時保育は、母親にとって安心して育児を頼める、よりどころと成っています。

相模原市では、この地域育児センターを9か所の保育所で開設しています。そして、開設数の増強と運営の充実が期待されています。

研修に力を……

古屋典子

新年度のスタートと共に、各委員会とも好調にすべり出し、六月には、福祉部長をはじめ関係の方々の出席を得て平成四年度の市の福祉行政について「関係行政機関との話し合い」がもたれました。又七月には保育問題調査研究委員会の今年度の課題の一つである「保育所関係法令等についての研究討議」に関連して、県児童福祉課の方から措置費の内容・補助事業等の説明をいただき懇親会も含め、なごやかに活発に話し合いが行われました。九月には、園長主任保育母研修として高島輝先生より「地域の子育ての現状と保育園」について講演いただきその係りを考えていきたいと思っております。その他広報の原稿も順調に集まり、八月一日に第一号が発行されました。

地区組織をかえりみて

草山充

当市には、県保育会加入園全体で構成され、且地区委員の選出母体となっている組織はない。私立11園の会（地区委員―全体で15園のため定数1名―は、ここから選出）と、公立4園の会及び公私立の「保育園園長連絡会」（名称通り相互連携のため、の会として発足）がある。この連絡会は、組織上からだけみると、地区保育会に近い。活動は年四回程度で、「秦野市保母の日」とか「保育所の役割」などの保育園全体の問題を対象とする。県保育会活動からみてこの会との関連を密にする事や、たとえ地区委員定数1名でも、公私立各々が県保育会活動に直接参加できる道の充実が必要だ。

時 間	内 容
9:30～9:45	受付
9:45～10:00	開会、会長挨拶、オリエンテーション
10:00～11:45	講話「よりよい職業生活に向けて」 元湖北北地区大学教員 高 島 肇 先生
11:45～12:45	昼 食
12:45～14:30	意見交換会 助 産 師 高 島 肇 先生 神奈川県保育会副会長 柳 葉 融 元 先生
14:30～14:40	休 憩
14:40～15:40	講話「神奈川県保育会の役割と活動」 神奈川県保育会会長 黒 田 英雄 先生
15:40～16:20	講話「保育を取り巻く現状」 神奈川県保育会副会長 山 本 元 先生
16:20～16:30	まとめ、閉会

新任公立保育園長研修会
九月七日大和市保健福祉センタ―
において開催。大和市役所や研修
委員の暖かい配慮の中朝早くから
夕方まで新任の先生方が熱心に研
修を受けられた。

おめでとうございます。
藍綬褒章をふくざわ保育園長
石野きよ子先生が受章されました。

- ④全国保育研究大会、神戸市
- 平成4年11月18日(火)～20日(金)
- ⑤主任・中堅保母研修会
- 平成4年11月10日(火)～11日(水)
- 箱根町社会教育センタ―
- ⑥保母の日前夜祭
- 平成4年12月4日(金)
- ⑦調理員研修会
- 平成5年1月22日(金)予定